

意見交換における本部委員の主な意見

□産業戦略指針「やまぐち産業イノベーション戦略」の改定（最終案）について

（改定最終案全般に関する意見）

- 委員の意見も反映された良い内容になっている。
- DXの推進を中心によくまとまっている。
- 戦略をしっかりと進めてほしい。

（各プロジェクトについて）

〔瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト〕

- 低炭素、カーボンニュートラルへの取組も含め、コンビナート企業間連携については、県と相談しながら進めていきたい。
- CO₂削減の取組は必要だが、企業が競争力を維持できるよう進めるべき。
- 低炭素化の取組は、企業共通の懸案事項。世論の醸成や、コンビナート企業間の技術交流の場づくりに向けて積極的な取組をお願いしたい。

〔地域産業デジタルトランスフォーメーション加速化プロジェクト〕

- デジタル化については、必要性・重要性は分かりつつも、中小企業は取組が追いついていない部分が多い。

〔オープンイノベーション加速化プロジェクト〕

- 技術交流会は、県内企業の連携強化に向けた良い取組と評価しており、取組が進むことを期待する。
- 高度産業人材の育成・確保は、分野横断的な取組であり、キーになると思う。なお、人材確保に向けては、若い人に魅力ある県にしていく努力も必要。
- 企業経営には経営者の覚悟が必要である。人材の確保に向けて企業は魅力を作り、それを発信していくことが重要。

〔自動車関連産業イノベーション創出プロジェクト〕

- カーボンニュートラルへの対応は、商品（自動車）の「電動化」、「生産・運搬におけるCO₂を発生させないモノづくり」が重要。DXの推進を含め、技術力のある県内企業との連携が必要。

〔成長産業育成・集積プロジェクト〕

- 脱炭素社会の実現に向けては、これをチャンスと捉え、再生エネルギーへの切り替えや、新製品開発等に取り組んでいくべき。

〔地域中核企業創出・成長支援プロジェクト〕

- 脱炭素化に向けた取組が進むと思われるが、関連製品の開発等に中堅・中小企業も付いていけるような仕組み作りを行ってほしい。